

小平市議会定例会一般質問通告書

再質問の方式

- ① 一括質問一括答弁方式
② 一問一答方式

質問件名 小平市の空き家を利活用するために

質問要旨 (初めに質問全体の趣旨、次に具体的な質問内容を項目別に記入してください)

全国的に人口減少や高齢化、建物の老朽化や社会ニーズの変化などを背景に、空き家等が社会問題化しています。小平市では、「空き家化の予防」「空き家等の適正管理」「空き家等の利活用」を空き家等対策の基本方針として2019年3月に小平市空き家等対策計画が策定されました。策定から今日までの間、人口は微増していますが空き家等は増加しています。

2022年度決算特別委員会の総括質疑で、子育て世代の転入について、子育て施策などを充実させるなかで、選んでもらえる小平市、選ばれる小平市にしていきたいとの答弁がありました。現在利活用として市は、売買に軸足を置いています。地域のサロンを開催したい市民団体とのマッチングや、若者や高齢者のシェアハウスができるよう持ち主と交渉するなど、売買以外の方法も検討するべきであると考え以下質問します。

- 1、小平市の空き家等の件数について、近隣他市と比較して多いのか、少ないのか、また市内空き家等の5年間の増減の推移をお示ください。
- 2、2023年1月に令和4年度小平市空き家等実態調査報告書が発行されました。実態調査を行ったことで把握できた小平市の特徴、課題や問題点をお示ください。
- 3、(仮称)第二次小平市空き家等対策計画策定について、令和4年度小平市空き家等実態調査報告書を踏まえて、どのような検討がなされていますか。今後のスケジュールについてもお示ください。
- 4、小平市都市計画マスタープランでは、安全・安心なまちづくりの方針として空き家等の活用や必要な措置を検討するとしています。空き家等を地域安全や適正管理の視点からだけでなく、良好な住まいづくりの方針にある地域コミュニティを育む拠点づくりとして空き家を活用することについて市の見解を伺います。

上記のとおり、小平市議会会議規則第57条第2項により通告します。

令和5年11月15日 小平市議会議長 殿 小平市議会議員 氏名 さとう 悦子

受付番号【 】

27	26	25	24

-(/)